

平成30年度 しおさいの里等複合施設 事業計画

1. 中期的な事業方針（計画期間：平成30年度～32年度）

国はこれまで、国民一人ひとりが、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるように地域包括システムの構築に向けた取り組みを進めてきた。また、これまでの制度改正の中で「地域包括ケアシステムの構築に向けた見直し」が行われ進められてきており「医療・介護の連携」「地域共生社会の実現に向けた取り組み」などが推進されることとなった。

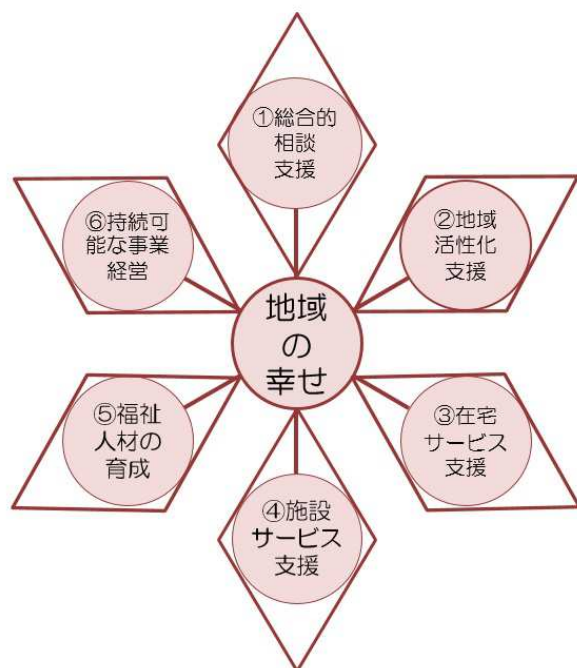
障害福祉分野においても、利用者の高齢化や重度・重複化に対して、地域医療と密接に連携した支援の充実が求められ、現高齢福祉制度と障害福祉制度間の課題を見直し「共生型サービス（地域共生社会）」の実現に向けて制度改正されることとなった。

高齢・障害のサービスを持つ施設として「地域共生社会の実現に向けた取り組み」に向けた役割を果たしていくことがより求められている。

また、福祉に携わる人材に限りがある中で、職員がやりがいを持ちそして、適切にサービス提供が出来る仕組み（人材の確保と生産性の向上、質の高いサービスの実現）と更なる経費削減、施設設備の修繕等の効率的な経営をすすめる。

限られた経営資源を有効に地域に還元するため、当複合施設の各事業部門が連携し、一体となって進めてきた「しおさいの里 六華（りっか）プロジェクト」を今後も「新・六華プロジェクト」として推進していきたいと考える。

しおさいの里 新・六華（りっか）プロジェクト ～地域を幸せの華で包み隊！～



・地域包括ケアシステム構築のための手立てとして考えた、当法人独自のプロジェクト。

・六華とは、六角形の雪の結晶、雪の華。当施設の持つ役割や機能を六つの華びらにみたくて、地域をやわらかく包み込みたいという思いが込められている。

<総合的相談支援（一ノ華びら）>

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、障害者相談支援センター等との情報共有を図りつつ、地域住民の相談窓口機能を果たします。

<地域活性化支援（二ノ華びら）>

地域住民、住民組織等の多様な主体と協働しながら、地域社会の活性化に向けた取り組みを推進します。（・介護予防事業「だんだん広場」 ・障害者スポーツ等の体験交流（ふくしのひろば等） ・認知症啓発活動 ・地域交流行事（夏祭り等） ・社会奉仕活動 ・地元保育園や小中学校等との交流事業 ・ホームページや広報紙等を媒体とした情報発信）

<在宅サービス支援（三ノ華びら）>

介護及び障害福祉サービス事業所としての資源やノウハウを最大限活用し、地域に還元します。（デイサービスセンター、ショートステイ）

<施設サービス支援（四ノ華びら）>

在宅での生活が困難な方々、特に中重度の要介護者や障害のある方々への生活支援に努めます。

<福祉人材の育成（五ノ華びら）>

人材不足が顕著に現れている福祉分野において、組織の活性化を図りながら、互いが協力し合うとともに、やりがいのある職場づくりに努めます。（・職員研修 ・目標管理 ・メンタルヘルス対策 ・組織体制の見直し ・給与改善 ・障害者雇用）

<持続可能な事業経営（六ノ華びら）>

当複合施設の安定的、発展的な事業継続に向けての取り組みを推進します。（・収入増加策の検討（空床管理、加算の検討等） ・効率的、効果的な業務改善による経費削減 ・設備、備品の大規模修繕、更新の計画、実施 ・夕映えの郷事業部との業務連携）

2. 事業内容

- (1) 特別養護老人ホームしおさいの里（介護老人福祉施設）
- (2) しおさいの里ショートステイ（短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護）
- (3) 障害者支援施設さいはま園（生活介護、施設入所支援、短期入所）
- (4) デイサービスセンターゆりかご荘（通所介護、新総合事業通所型サービス（現行相当サービス、緩和した基準によるサービス））
- (5) しおさいの里居宅介護支援事業所（居宅介護支援）
- (6) しおさいの里地域包括支援センター（大潟くらし支援室・頸城くらし支援室）
（上越市委託事業、介護予防支援）
- (7) 介護予防教室「だんだん広場」（新総合事業通所型サービス B（まちづくり大潟委託事業）、法人独自事業）

3. 平成30年度事業計画

3-1) 複合施設事業計画

(1) 事業目標：六華プロジェクトを継続し、地域と共存しながら、関わるすべての人たちが生き生きと感じられる事業運営の深化・推進を目指します。

(2) 重点目標：

1. 地域との関わりの充実を目指す。

①地域包括支援センターが大潟・頸城両区に事業が拡大した。地域に根差したサービスの推進のため、事業の安定化を目指す。

②地域や関係機関等、外部との交流を促進することで、地域に暮らす高齢者の活躍の場の提供や施設利用者の生活支援の充実に努めます（施設内クラブ活動の充実とボランティアの積極的な受け入れ。夕映えの郷とのさらなる業務連携等）。

2. 質の高いサービスの実現を目指す。

③「介護予防」から「中重度の要介護者」まで、幅広いニーズに応え「支援・ケア体制の充実」を図ります（介護予防教室だんだん広場、半日型デイサービス、一日型デイサービス間での人的交流の促進、ショートステイ入所との連携等）。

④「認知症介護指導者」の基、認知症ケアに更なる理解を深めるとともに、利用者の自立支援に向けた取組みを推進します。

⑤高齢・障害制度間の共生型サービスの実現に向け利用者の生活支援の充実を目指します。

3. 人材の確保と生産性の向上

⑥業務の効率化を進めることで、職員の負担の軽減に繋げると共に、キャリアパス要件（職員の職位、職責、職務内容等に応じた任用等の要件）等を見直しつつ、先を見据えた人材配置、仕組みを進めます。

⑦更なる経費削減に努め、施設設備の修繕等を進め効率的な経営に取り組めます。

⑧施設の非常災害ならびに防犯に係る対策を継続し進め、利用者及び職員の安全を確保します。（非常災害計画の見直し、避難訓練の実施、福祉避難所の運営 等）

3-2) 在宅支援課 部門計画

(1) 部門目標：地域包括ケアシステムの深化・推進の観点から、各事業部門における機能強化や役割の見直し、再構築を図ります。

(2) 重点目標：

①今年度より上越市から新たに受託する「しおさいの里地域包括支援センター（大潟くらし支援室・頸城くらし支援室）」について、使命と責任を持って運営します。

②主たるサービス提供（対象）エリアの拡大に伴う生活支援体制の再構築を図ります。

③対象エリアの介護保険の状況や、介護予防ならびに重症化予防の重要性を考慮した支援体制の再構築を図ります。

④介護予防教室の実践や高齢者の活躍の場の提供、共生型サービスの検討等を通じて、地域の多様で複合的な生活課題の解決に、住民や福祉関係者と連携して取り組みます。

3-2-1) 地域包括支援センター 部門計画

- (1) 部門目標：地域包括ケアシステムの構築に向け、積極的に地域に出向き、地域の医療・福祉の関係者や住民組織等との関係構築を図ります。
- (2) 重点目標：
 - ①職員一人一人がそれぞれの専門性を発揮し、職員相互の連携により一体的な運営ができるように業務方法の統一化を図ります。
 - ②地域ケア会議は地域の課題を明らかにしたうえで、地域の主体性にに基づき、関係者と課題解決策の検討や必要な地域資源の開発を目指します。
 - ③介護支援専門員のニーズを把握し、多職種連携や介護の重症化予防に向けた研修会、自立支援に資するケアプラン作成のための検討会を開催します。

3-2-2) 居宅介護支援事業所 部門計画

- (1) 部門目標：利用者が可能な限り居宅において、自立した生活が送れるよう関係機関等との連携を図り、広範なニーズへの対応が可能な質の高いケアマネジメントの実践を目指す。
- (2) 重点目標：**(数値目標：担当件数 120 件／月 以上)**
 - ①利用者の生活の現状や暮らす地域を総合的にアセスメントし、専門的な見解を誠実に伝え、そのうえで利用者（家族）の自己決定を尊重しながら、その人らしい生活のありようを利用者（家族）と一緒に考えていく課題解決アプローチを実践する。
 - ②平時から地域包括支援センターや介護事業者、医療機関等と連絡を取り合い、生活状況や課題、ニーズ等の情報共有に努め、連携と協働による高度なアプローチを目指す。
 - ③個別研修計画を各自が実施し達成状況を高めるとともに、「利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議」をより充実させ、事業所全体の質の向上を図る。

3-2-3) デイサービスセンター 部門計画

- (1) 部門目標：地域で暮らす高齢者の皆様が行ってみたいと思っただけのデイサービスを目指します。
- (2) 重点目標：**(数値目標：1 日型 24 名以上／日 半日型 5 名以上／日)**
 - ①お試し利用を積極的に受入れ、ご利用様が利用してみたいと思えるような暖かいサービスの提供に努めます。
 - ②ご利用者様、ご家族様の意向を確認し、個々に合わせた支援を行います。
 - ③サービス提供エリアの拡大に伴い、頸城方面からも利用受入れができる支援体制の構築を目指します。
 - ④新規依頼には迅速に対応し早期利用につなげ、通所介護及び総合事業の現行相当サービス（みなし）の毎月の利用延べ人数 6 2 4 人を目指します。（毎日の利用者数 2 4 名以上）
 - ⑤半日型デイサービス（主に総合事業の通所型サービス A の対象者）の毎月の利用延べ人数 1 3 0 人を目指します。（毎日の利用者数 5 名以上）
 - ⑥介護予防教室だんだん広場やうみまち茶屋との人的交流の強化を図り、一人ひとりのニーズの変化にも柔軟に対応できる支援体制を目指します。
 - ⑦在宅支援課各部門や関係機関と連携を図り、高齢者の活躍の場の提供や共生型サービスの検討を通じてデイサービスができることに取り組みます。

3-3) 高齢介護課 特別養護老人ホーム 部門計画

- (1) 部門目標：利用者、職員共に笑顔で、安心して楽しみのある生活が送れるよう心や思いに寄り添い、やりがいを持ち、適切なサービス提供の実現を目指します。
- (2) 重点目標：**(数値目標：稼働率 97.5%/年)**
 - ①利用者の基本的人権を尊重し、安心・安全な生活が継続でき、その人らしく笑顔で生活できることを大切にしながら支援します。
 - ②認知症ケア担当者が中心となり、一人ひとりが自分らしく安心した生活が送れるような支援を目指します。認知症研修等の参加にも努めます。
 - ③専門職としての自覚を持ち、個々の役割と責任を認識しながら、職員間のコミュニケーションを大切にし、風通しの良い、働きやすい職場環境を目指します。
 - ④地域に暮らす高齢者の活動の場としてボランティア活動の受け入れを継続します。ボランティアコーディネーターと連携しながら利用者が楽しみややりがいを持てる活動の輪を広げ、社会との結びつきの更なる充実を目指して行きます。
 - ⑤クラブ活動や外出、お料理活動を通して、利用者の可能性を引出す取り組みを継続します。
 - ⑥一人ひとりが自身の資質向上のため、積極的な研修参加や自己研鑽に努めます。

3-3-1) しおさいの里 2丁目 部門計画

- (1) 部門目標：利用者が心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう、職員が協力し合い、真摯に支援していきます。
- (2) 重点目標：
 - ① 日々の生活支援の中で、感染症の予防・安全への配慮を行いながら、年間・月間の行事や季節を感じていただけるような雰囲気を作り、楽しんでもらえるよう努めます。利用者の個々のニーズにはできる限り応えて行きます。
 - ② 言葉の表現やトーン・対応の仕方等、不適切ケアに繋がらないよう職員全員で努めます。また職員間のコミュニケーションを活性化し、情報共有・相談・検討を重ね、ケアの質を向上させていくと共に、連携を強化していけるよう努めます。

3-3-2) しおさいの里 3丁目 部門計画

- (1) 部門目標：利用者が安心・安全な生活を送れるよう援助し、職員にとっても働きやすい環境作りに努めます。
- (2) 重点目標：
 - (ア)利用者が充実した生活が送れるよう、又事故防止に努め安心・安全なサービスを提供します。
 - (イ)職員間のコミュニケーションを大切にし、お互いに思いやりを持って、相談しやすく働きやすい環境作りを目指し、より良いサービス提供を目指します。

3-3-3) しおさいの里 6丁目 部門計画

- (1) 部門目標：利用者、職員共に笑顔で安心して楽しみのある生活が送れるよう、心や思いに寄り添い支援します。
- (2) 重点目標：
 - ① 利用者がその人らしく笑顔で生活できるよう、利用者の楽しみややりがいを日々の支援

の中で探っていき、サービスを提供します。

- ② 職員間のコミュニケーションを大切に、業務体制を工夫しながら職員が心にゆとりを持てる働きやすい職場環境を目指します。

3-3-4) しおさいの里 7丁目 部門計画

- (1) 部門目標：利用者一人ひとりが安心して、充実した生活が送れるよう支援します。
- (2) 重点目標：
 - ① 職員間の連携を密にし、不適切なケア、介護事故を起こさない、起こらないよう努めます。
 - ② 常に業務の効率を考え、職員の負担軽減に努めます。

3-3-5) しおさいの里 5丁目 部門計画

- (1) 部門目標：何度も利用していただけるように心のこもったサービス提供に努めます。
- (2) 重点目標：**(数値目標：稼働率 94%/年)**
 - ① 利用者やご家族の意向を汲み取り、人権を尊重し、気持ちに寄り添った対応を行います。
 - ② 職員間の連携、コミュニケーションを大切に、情報の共有を図り適切なサービス提供に努めます。
 - ③ 施設内研修や部署内において認知症ケアの学びの機会を持ち、パーソンセンタードケアの理解を深め、利用者が安心して生活が送れるような支援を目指します。
 - ④ 楽しみややりがいがある活動や利用者の可能性を引き出せるような余暇活動の充実に努めます。
 - ⑤ 特養の空きベッドも活用し、利用率アップに繋げ、毎月の利用延べ人数 340 人を目指します。

3-3-6) 看護 部門計画

- (1) 部門目標：利用者が安心して過ごせるよう健康面から支えて行きます。
- (2) 重点目標：
 - ① 終の棲家の施設としての役割が果たせるように、他職種と連携し取り組みます。
 - ② 薬の管理・医療行為ケアでの事故が無いよう取り組んで行きます。
 - ③ 傷の処置、体調管理をスタッフ間で連携して安全に行えるよう努めて行きます。
 - ④ 職員の外部研修参加をすすめて行きます。

3-3-7) 機能訓練 部門計画

- (1) 部門目標：利用者の思いを汲み取り、他職種との連携を図って援助を行って行きます。
- (2) 重点目標：
 - ① 専門職としての視点から、利用者の能力や可能性を念頭に置き、安全な生活環境や充実した生活を送れるよう支援に努めます。
 - ② クラブ活動やレクレーションボランティアの方とも連携を図って、利用者の楽しみややりがいを提供していきます。
 - ③ 地域貢献活動（だんだん広場）を通して、地域の方々の健康増進に努めます。

3-3-8) 相談支援 部門計画

(1) 部門目標：地域の方々や利用者、ご家族、施設職員が繋がりを大切にし、利用者一人ひとりが最期の時まで自分らしく、楽しみのある生活が送れるような支援を目指します。

(2) 重点目標：

- ① 利用者のアセスメントを充実させ、ご家族や施設職員と情報を共有します。
- ② 地域に暮らす方々のボランティア活動を受け入れ、利用者が楽しみややりがいを持てるクラブ活動や外出を通し、地域との繋がりを目指します。

<行事年間計画>

4月	・花見 高田公園	10月	・水族館見学
5月	・買い物、外食	11月	・水族館見学
6月	・あごすけラーメンボランティア ・かっぱ祭り	12月	・お買い物会
7月	・お買い物会 ・七夕祭り	1月	おやつ作り
8月	・蓮見学	2月	
9月	・施設行事 敬老会	3月	

<クラブ活動・他活動>

チクチク倶楽部
男気クラブ
畑々クラブ
ガーデニング
アロマ・カフェ
しおさいカフェ
うみまち茶屋
音楽レク

3-4) 障害支援課 さいはま園 部門計画

(1) 部門目標：さいはま園の役割を発信し、「心地良い施設」を目指します

(2) 重点目標：

- ① 利用者の「自分でできる」という思いを大切にした自立支援と、「なりたい自分」を目指す自己実現を支援し、QOLの向上を目指します。
- ② 「人権尊重と尊厳の確保」を実践し、人権意識向上委員会の3原則を遵守した一人ひとりを大切にする施設を目指します。
- ③ 福祉施設として担っている役割を発信し、さいはま園の取り組みや長所、福祉の魅力がコミュニティに浸透するよう努めます。
- ④ 夕映えの郷との連携により、コミュニティの多種多様な障害者の実情を把握し、障害福祉の専門性を生かした体制を構築します。
- ⑤ 職員同士が相談しやすい環境で「協議（目的を合わせる）・協力（力を合わせる）・協調（心を合わせる）」のチーム力で働きやすい職場を目指します。

3-4-1) 障害者支援施設（生活介護・施設入所支援） 部門計画

(1) 部門目標：「ひとりのニーズに機能する施設」を目指します。

(2) 重点目標：**(数値目標：生活介護 96.2% 施設入所支援 94.8%)**

- ①利用者や家族の意向を反映させた「求められている支援（重度化・高齢化・医療的ケア）や体制」を構築します。
- ②その人を支えているもの（人）・大切にしているもの（人）を理解し、個別支援計画に基づいた「一人ひとりを重視した支援」を行います。
- ③利用者の要望や相談事に真摯に取り組み、「安心できる暮らしの場」として機能します。
- ④夕映えの郷との合同行事を通して、利用者の生活の幅や可能性を広げ、「交流のおもしろさと活躍する場」を作ります。
- ⑤業務軽減を図る機器やさらなる福祉支援用具の導入により、福祉職の重労働を見直し、一層の効率化と業務軽減を図ります。

3-4-2) 短期入所（ショートステイ） 部門計画

(1) 部門目標：コミュニティ拠点としての施設を目指します。

(2) 重点目標：**(数値目標：稼働率 74.8%)**

- ①緊急時や災害時の福祉避難所として機能し、円滑な受け入れ対応を目指します。
- ②重度の障害がある方や医療的ケアを必要とされる方を支える施設として、行政や相談支援事業所と連携を図り、受け入れ体制を整えます。
- ③レスパイト機能だけでなく、将来の施設生活に安心感が持てるよう、入所待機の場としても機能します。
- ④共生型サービスは、制度の動向や、利用者状況を見据えたうえで体制を整えます。
- ⑤利用者の多様性（障害種別の多様化・家庭環境の変化など）に応じた体制を整え、障害についての知識を学び、専門性を向上させます。

3-5) 管理課 部門計画

(1) 部門目標：利用者の「喜び」を引き出せるサービス提携に努めます。

「安心・安全」「効率・効果的な経営」に努めます。

(2) 重点目標：

- ①施設利用者が、安心・安全に生活ができるようサービス向上に努めます。
- ②利用者の声に耳を傾け、食事に対する満足度を高めていきます。（利用者に寄り添う、食事提供に努めます。）
- ③職員、法人組織間の連携を通して効率・効果的な経営に努めます。
- ④職員が安心・安全に働ける職場施設環境に努めます。
- ⑤安定的・発展的な事業経営ができるよう、業務の改善に努めます。
- ⑥職員一人ひとりが生き生きと働けるよう職場の活性化に向けて、職員の健康と精神的健康の増進を図り活力ある組織づくりを推進します。

3-5-1) 管理課 厨房 部門計画

(1) 部門目標：「食べる喜び」を感じて頂き、おいしく安全な食事の提供に努めます。

(2) 重点目標：

- ①他職種との連絡調整を密にし、工夫や配慮を加え、心のこもった食事提供に努めます。
- ②選択メニューや郷土食など楽しみにしていただける様な食事を心がけます。

③衛生管理を徹底し食中毒を予防します。

3-5-2) 管理課 事務 部門計画

(1) 部門目標：業務改善を常に念頭に置き、効率的な経営に努めます。

(2) 重点目標：

①光熱水費、経費等のコスト削減に努めます。

②情報を共有し、円滑な外部対応を行います。

③労務情報の共通管理により、効率化と迅速な対応に努めます。

④経理業務において、会計ソフトの機能習得と会計事務所との連携により、正確で効率的な業務を行います。

⑤他職種の業務を支える職場環境と組織づくりを目指します。

⑥法人間で経理業務や経費削減を効率・効果的に行うよう努めます。

3-5-3) 管理課 保安、宿直、清掃 部門計画

(1) 部門目標：利用者と職員が安心、安全、快適に施設を利用できるよう各職種間と連携を取りながら効率、効果的な業務に努めます。

(2) 重点目標：

①保守・修繕において職種間と連携し、効率効果的な業務に努めます。

②設備機器の更新に際し、効率化が図られるよう努めます。

③安全と清潔を心がけ、利用者と職員が生き生きと働ける環境づくりに努めます。

④施設内外の美化及び、報連相の徹底を行います。

⑤ 3S(整理、整頓、清掃)を行い、5SC(整理、整頓、清潔、躰)を目指します。